

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：環境政策課
 担当名：企画・環境影響評価担当
 内線：3041 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B5	環境影響評価制度運営事業費		一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境影響評価制度運営費	
事業期間	昭和56年度～	根拠法令	埼玉県環境影響評価条例、埼玉県戦略的環境影響評価実施要綱、環境影響評価法、埼玉県環境基本条例		戦略項目	040104 生物多様性保全の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
(1) 環境影響評価制度運営事業 大規模事業等が及ぼす環境影響を把握し、環境影響を回避・低減するための環境保全措置等を講じることを、開発事業者等に求める。 (2) 戦略的環境アセスメント制度推進事業 環境影響を及ぼすおそれのある県の計画等の案を作成する段階において、環境配慮のあり方を検討する。 運営費用の節減及び環境影響評価対象事業の手続開始時期変更や、業務委託に係る契約差金の発生等による減額 (1) 環境影響評価制度運営事業 △3,935千円 (2) 戦略的環境アセスメント制度推進事業 △1,344千円			(1) 事業内容 ア 環境影響評価制度の適切な運営 10,647千円→6,712千円 ・環境影響評価条例の施行、環境影響評価技術審議会の運営、関東甲信越ブロック会議参加、環境アセスメント学会参加 イ 戦略的環境アセスメント制度の推進 1,344千円→0千円 ・戦略的環境影響評価実施要綱の施行、環境影響評価技術審議会の運営 (2) 事業計画 ア 環境影響評価制度の適切な運営 環境影響評価技術審議会開催 全体会 4回 小委員会 10回 イ 戦略的環境アセスメント制度の推進 環境影響評価技術審議会開催 全体会 1回 小委員会 2回 (3) 事業効果 ア 環境影響の回避・低減 開発事業等が環境に及ぼす影響について、いろいろな観点から検討することにより、環境影響を回避・低減するための環境保全措置が講じられる。 イ 住民参加の促進 開発事業等による環境への影響を調査、予測、評価し、その結果を公表することにより広く住民等の意見が求められ、住民参加を促進する。 ウ よりよい事業計画づくり 戦略的環境影響評価を実施することにより、社会経済面の効果や環境面の影響など幅広く事業計画の内容が検討でき、よりよい事業計画とすることができる。 (4) 補正予算の概要 運営費用の節減による減額 △4,641千円 業務委託に係る契約差金の発生 △638千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費(細目) 環境保全対策費 (細目) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 平成27年度人件費 9,500千円×3人=28,500千円 平成26年度人件費 9,500千円×3人=28,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△5,279						△5,279	6,712
現計額	11,991						11,991	